

淡路島に学ぶ「創造的復興」と「よりよい社会づくり」

～マレーシアの公共事業局担当官が阪神・淡路大震災の教訓を活かす～

独立行政法人国際協力機構（JICA）関西センターでは、10月8日から10月26日まで、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターの協力のもと、マレーシアを対象とした研修「災害を契機としたレジリエントな社会づくり」を実施しています。この研修には、マレーシア公共事業局から担当官13名が参加しており、防災に関する日本の知見、特に大規模災害からの復興過程における行政の役割と創造的復興の経験を学び、被災を契機とした災害に強い社会づくりの実現に向けた活動計画を作成します。

マレーシアでは、毎年モンスーンの季節に、洪水や土砂災害などが多発しています。特に洪水による被害は顕著で、2014年と2021年には甚大な被害と経済社会全般に悪影響を及ぼしました。近年の急速な都市化や気候変動の影響から、災害リスクの増大や新たなリスクへの対策が課題となっています。

10月23日は淡路島を訪問し、野島断層保存館において活断層で起きる地震の特徴やメカニズムを学ぶほか、新たな災害への備えを考える上で重要な役割を担う「語り部」から話を聞く予定です。洲本市・南あわじ市では、昔から渇水に悩まされる一方、台風等の豪雨により繰り返し被害を受けてきた洲本川流域における過去の災害と復旧対策について学びます。以下日程で取材・参加者へインタビューが可能です。是非ご検討ください。

取材可能日程:2024年10月23日(水)

時間	内容	場所
9:30-11:30	野島断層保存館 視察 9:30-10:30 語り部 10:30-11:30 見学	北淡震災記念公園野島断層保存館 (兵庫県淡路市小倉177)
13:30-16:30	13:30-15:30 講義「洲本川の復旧」 15:30-16:30 現場視察 ※兵庫県淡路県民局洲本土木事務所の協力を得て実施します。	兵庫県淡路県民局洲本総合庁舎 (兵庫県洲本市塩屋2丁目4-5) 洲本川水系 三宅川 (兵庫県南あわじ市山添)

研修対象国(人数):マレーシア(13名) ※日本語⇄英語の通訳が同行します。

～ご取材いただける場合は以下まで事前にご連絡ください～

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西センター 研修業務課 有江 由貴(ありえ ゆき)

TEL: 078-261-0383(代表) 080-7144-8455(直通) E-mail: Arie.Yuki2@jica.go.jp